

「将棋の魅力伝える為に」

おきなか しょうへい
(株)WAKA 代表取締役 冲中 尚平



住所: 加古川市平岡町新在家2丁目270-11
ラ・ブローテ東加古川2F
TEL: 079-490-5528
営業内容: 飲食業

(株)WAKA 冲中尚平です。
東加古川で飲食店「お好み居酒屋まごみ」姫路総社で将棋文化普及「プロ棋士神吉七段の大逆転将棋倶楽部」神戸「BeBe Petits Poiss Vert」と全く異なる事業展開をしています。此度はその中でも「将棋文化普及」事業への想いを書きます。
現在、将棋教室・道場を運営していますがその中で培われたノウハウを活かし、将棋

のオンライン学習コンテンツ「スマイル将棋®」という商品も開発・販売しています。将棋を教育の一環として捉え学習塾や学童向けにコンテンツ化したもので「楽しんで学んで強くなる」がテーマです。リリースから1年ほどが過ぎ全国で60を超える教室に導入頂き沢山の子供達がスマイル将棋®を使用して将棋を学んでいます。

将棋は日本の伝統文化であり伝統競技でもあります。その歴史は500年以上と言われており、かの有名な織田信長も愛好していました。最近ではプロ棋士藤井聡太先生の活躍により馴染みのあるものとなっています。

私が感じる将棋の魅力。たった81マスしかない盤の上で天文学的な数の局面がありそれはまさに小宇宙の中での戦いのよう。もちろん全ての手を読み切る訳ではないですが自分と相手の考えうる全ての手を考え、選択し、実行する。それを1手1手にする訳です。終盤になればなるほど鼓動は高まり勝てればとんでもなく嬉しいが負ければとんでもなく悔しい。将棋にはまぐれはないと言われますがその通りで勝つても負けても全責任は自分にあります。負けた時はその責任を負って「負けました」と言わなければなりません。勝ちも負けも自分で認め、受け入れなければならぬ。そんなところが最大の魅力です。

これを教育という観点から見た時に将棋には今の子供達に必要なモノが沢山詰まっていることが分かります。現代の子供達は良くも悪くもデジタル化が進みすぎてすぐに答えを手に入れることが可能です。検索窓にその文言を打ち込むだけで膨大な情報と答えが簡単に表示されます。「問題がある↓どうするか考える↓解決策を生む」という流れの過程で「どうするか考える」が抜けてしまいがちです。だから思考力低下が懸念されます。思考力、考える力はどんな場面でも必要です。学校生活だけでなく家庭でも、社会に出ても。この思考力を鍛えるのに将棋はどうやってつけないモノはないと思っています。将棋は考えないと勝てませんし楽しくありません。将棋をすると自然と思考力が鍛えられます。それに付随して集中力や精神力も鍛えられます。現代の子供達にとってこういう力の重要性は非常に高いと思っています。

将棋には子供達に必要な力が詰まっています。それを知ったからこそ、「伝える・教える」のは私の使命です。スマイル将棋®をもっと沢山の場所に広げ、それを通じて将棋を学ぶ子供が増え、その子供達の成長の一助になればならそんなにも嬉しいことはありません。

楽しんで学んで成長して将棋って最高！をこれからも伝えていきます！